

ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

福祉を考える集会 映像での活動報告

第39回 福祉を考える集会 コロナ禍で見えてきたことと新しい活動

チャンネル・ユーで放映します

【初回放送】

令和4年 3月23日(水) 18:00~

これ以降の放送日時は下記に記載してございます。ぜひご覧ください。

- 3月23日(水) 19:00、20:00、22:00、23:00
- 3月24日(木) 6:00、7:00、10:00、12:00
- 3月25日(金) 12:00、14:00
- 3月26日(土) 23:00

Withコロナの生活も早2年。コロナ禍によって潜在的な課題があぶり出されたり、新たな課題が出てきたりしました。その度に、様々な分野・場所で新しいやり方・生活様式を実践し、解決へと向き合ってきています。

松川町でも「学生等応援仕送り事業」や「松川町のお店応援券」等町独自のコロナ対策を実施し、安心で安全な住みよい暮らしづくりを行っています。

今回の集会では、そんな松川町独自のコロナ対策の他、コロナ禍でもできることを探し、続けてこられたグループの皆さんのお話しをお聞きます。「こんな課題に対してこんなアプローチをしてきた」「アフターコロナにも通用する新しいやり方ができた」そんな前向きになれる内容です。

主催

松川町福祉を考える会

事務局

松川町社会福祉協議会



〇〇お問い合わせ先〇〇

松川町社会福祉協議会
(電話36-3778)(FAX34-1062)
(メールcenter@mshakyo.jp)

今年2月19日(土)に予定していました福祉を考える集会は、今年も開催が出来なくなり、昨年と同じ様にチャンネルユーのご協力を得て、3月中旬以降に映像での活動報告をさせて頂く事になりました。

コロナ禍での生活で仲間との接触機会が減り、ボランティアグループの活動にも変化が見えて来ております。その活動の様子を集会を開いて発表しようとぎりぎりまで計画しておりましたが、感染拡大にともないやむなく映像での報告となります。

この2年間、ほぼ活動できなかったグループもありますが今までと変わりなく行動したり、本来の目的とは違う形でも出来る事を見つけて、仲間と作業をして親睦を深めたグループもあります。そんな中から今回は『いとし児会』と『ぽっかぽかの会』、そして令和2年の夏から始まった『地域で食料を循環させる会』の活動の様子が発表されます。

是非ご覧いただき、感想や福祉を考える会などについてのご意見をお寄せ下さい。

福祉を考える会会長 原 節子

シリーズ ボランティアグループ紹介

「おもちゃ図書館」

おもちゃ図書館は、「おもちゃ図書館全国連絡会」や松川町社会福祉協議会などの援助をいただき購入したおもちゃで遊んだり、おもちゃの貸し出しを行っています。

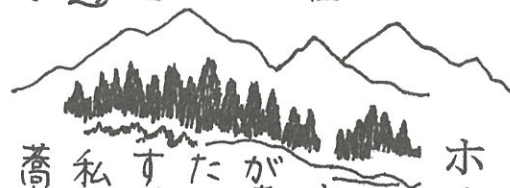
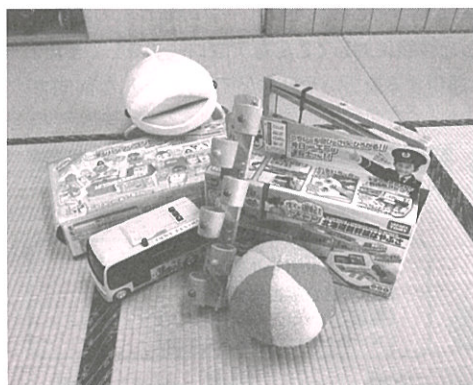
開館は毎月第4土曜日の9時半から11時半です。松川町社会福祉センター多目的ホールの広々とした所で、沢山のおもちゃでのびのび遊んでいただけます。そしてお家へ一ヶ月単位で借りていくことができます。個人では、なかなか買えない木製のおもちゃや、体を使って遊ぶ大きなおもちゃもあります。

三才ぐらいの子供さんや、その兄弟、姉妹の方ならどなたでも、育ちに少し悩みのある子供さんと、その親御さんも是非どうぞ。スタッフは数人と、やはりボランティアの「ミニミニたんぽぽ」のお母さんで、おもちゃの整理や手入れをしたり、子供さんと遊んだり親御さんとお話しして楽しいひとときを過ごしています。

今はコロナ感染の状況に依り時間短縮をしたりで活動、おもちゃの消毒もその都度しています。お子さん、お孫さんと一緒に遊び、気楽においでください。又、子供さんの好きな方、是非スタッフになってください。笑顔でお待ちしています。



上沼 雪江



ホーイ元気？

私の冬の好物



木曽地方には、すんきという独特の漬物があり、その漬物を温かい蕎麦の上に乗せた「すんき蕎麦」が冬の名物になっています。私は年が明けた一月になると、無性にその蕎麦が食べたくなります。甘辛いつゆの蕎麦の上に細かく刻んだすんきとかつお節だけが乗ったシンプルな蕎麦は、つゆにすんきの優しい酸味が移って食べ始めると止まらなくなってしまう。ざる蕎麦や天ぷら蕎麦は年間通して食べる事ができますが、すんき蕎麦はこの寒い時期でしか味わう事ができません。

今年も年明け早々に食べに行ってきました。周りのお客さんが、ざる蕎麦を頼んでいるのには目もくれず、迷わずすんき蕎麦を頼んで「うーん、冬はやっぱりコレ、コレ!!」と、つゆまですべて残らず美味しくいただけてきました。私の年に一度の冬の楽しみです。

北原 紀子